

事務局からのお知らせ

● 事業実施状況報告(2月末)

		令和6年	令和7年
会員数(人)	男	1,360	1,326
	女	509	506
	計	1,869	1,832
就業実人員(人)※		1,579	1,556
就業率(%)		84.5	84.9
受注件数	公共	62	57
	民間	3,558	3,474
派遣		57	91
請負契約金額(千円)		690,621	670,139
派遣契約金額(千円)		129,592	135,823

※「就業実人員」数は、請負契約及び派遣契約の就業会員の合算数値になります。

● 事務局からお願い

○ 令和7年度定時総会の開催について

令和7年度定時総会を下記のとおり開催します。

6月に案内通知や議案書、出欠席回答ハガキ等を送付しますので、**必ず出欠席回答ハガキを提出してください。**

また、やむを得ず出席できない場合は、**出欠席回答ハガキの「委任状」または、「議決権行使書」のどちらかに記入し、必ず回答期日までに提出してください。**

○開催日時：令和7年6月25日(水)
午後1時30分から

○開催場所：アミューゼ柏クリスタルホール
(柏市柏6丁目2番22号)

※総会終了後に、フレイル予防に係る講演を行います。この講演にも参加し、健康寿命を伸ばし、いつまでも元気に活動しましょう！



編集後記

▷アメリカ、トランプ大統領の就任によって世界が大混乱に陥っているような2025年の始まり。ウクライナの和平の行方が心配です。
そして、地球温暖化が要因の一つと言われる自然災害もますます厳しさを増しています。今年も猛暑

が予想されていますが、高齢者の私たちはどのように工夫して働いたら身を守れるのでしょうか。様々な意味で「かつてない時代」に突入している印象を強くしています。まずは、自分に戻って、歩ける体づくりから出発です。
【広報部会！】

■ 配分金支払日

☐ 3月分	4月25日(金)
☐ 4月分	5月26日(月)
☐ 5月分	6月25日(水)

※毎月の配分金明細書が必要な方は、事務局へご連絡の上、窓口までお越しいただくか、smile to smileからご確認ください。

ゆずりはクイズ Part 63

- Q1、令和7年度安全標語の最優秀賞の作品は？
Q2、自転車乗車時に着用するように心掛けるものは？
Q3、令和7年度の定時総会の開催日時と場所は？
☆ヒント：2面、5面、8面をご覧ください。
◎答をハガキ又は、メールに記載して事務局に送ってください。メールアドレス：kashiwa@sjc.ne.jp
メールの場合は、件名に「ゆずりはクイズ」と入力してください。

締め切りは**5月9日(金)**までです。正解者の中から、抽選で素敵な品を差し上げます。
会員番号と氏名を忘れずに書いてください。

- ◎ ゆずりはクイズ Part62の正解
Q 1の答：柏ふるさと公園
Q 2の答：月1回以上の社会活動
Q 3の答：会員一人ひとりの安全への意識向上と意識改革

応募数35通
うち正解者数32通でした。

「緊急連絡先」が変わった場合は、事務局へ連絡を！

会員の皆さんが事故等により負傷し、本人と連絡が取れない場合は、事務局から緊急連絡先へ連絡することがあります。入会時に提出していただいた緊急連絡先に変更が生じた場合は、速やかに事務局へ連絡をお願いします。

ゆずりは 第135号

編集・発行 令和7年4月20日
公益社団法人 柏市シルバー人材センター
〒277-0004 千葉県柏市柏下66-1
柏市保健勤労会館 2階
TEL 04-7166-6681 FAX 04-7163-4150
URL <http://kashiwa-sjc.or.jp>
メール kashiwa@sjc.ne.jp



目次

- 2P 安全標語：最優秀、優秀、佳作 / 安全だより / 新入職員紹介
- 3P 就業先紹介(Te To Te) / 会費の納入
- 4P シルバーの顔 / 駐輪場班会議 / 除草班会議
- 5P 駐輪場接遇講習会 / 安全研修会 / 自転車事故発生
- 6P 植木剪定講習会 / 刈払機安全講習会 / 近隣センター接遇・ハラスメント研修会
- 7P 駐輪場受付事務講習会 / 女性会員の就業体験談 / シルバーサロン
- 8P 事務所からのお知らせ / 編集後記



中島 優さん
P4をご覧ください!!

令和7年度

柏市シルバー人材センター
安全標語最優秀作品

「あっ危ない!」と思ったそのヒヤリ 皆で共有 事故防止

令和
7年度

安全標語が決定しました!

ご応募ありがとうございました。



「あっ危ない!」と思ったそのヒヤリ 皆で共有 事故防止

おおがね みずお
大金 瑞雄 会員



何よりも 安全第一 生きがい就労

いいじま みちこ
飯島 美千子 会員



笑顔で挨拶 今日も一日安全確認 心に留めて

こが よしひこ
古賀 義彦 会員

安全第一



今年度も、安心・安全な就業をお願い致します。

安全だより

安全委員会委員長

新年度になりました。安全委員会では、本年度も事故の減少に取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

日常生活や就業中に思いがけない出来事に「ヒヤリ」としたこと、事故寸前のミスに「ハット」とした経験はありませんか? 私も、自転車で転倒しヒヤリとしたこと、ハットしたことがありました。これらはヒヤリ・ハットといわれており、重大な事故や災害に直結する手前の出来事です。ヒヤリハットに関する法則として有名なハインリッヒの法則では、「1つの重大な事故の背景には29の軽微な事故があり、その背景には300のヒヤリ・ハットが存在する」ということを法則化したもので、事故の

原因から導き出したそうです。ヒヤリハットを日常生活や就業中の注意喚起や危険信号として捉え、リスクや安全管理の面で活用することは重要なことです。事故に至らなかった出来事を見つけ出し、そこから何かを学び、対策を講じる貴重な機会を得ることになります。私は、自転車で転倒し、ヒヤリとしたことで潜んでいた危険に気づいたので、ヘルメットを着用することにしました。事故防止は、一人ひとりの安全意識と安全行動に委ねられていると思っています。皆さんも、ヒヤリハットの出来事を見逃さず、その経験や事例を皆で共有、実行し、積極的な事故防止に取り組んでください。

新入職員紹介

ジョブコーディネーター

てるめま つよし
照沼 強



近隣センター巡回員

しばさき しげる
柴崎 茂



ジョブコーディネーターの入山さん、岩崎さん、矢島さんと、近隣センター巡回員の若松さんが退職されました。お疲れ様でした。

就業先紹介

* 柏市子ども・子育て支援複合施設「TeToTe(てとて)」*

Q1 仕事の内容、就業形態は?

8:45~17:15の時間帯で2名ずつのシフトを組み、利用者の受付、見守り、備品の管理、管理日誌へのデータ入力等を行います。

Q2 この仕事をして大変な事は?

利用される方は、0歳~中学生までと年齢層が幅広く、年齢により対応を変えて臨機応変に業務を行うことと、目配り、気配りで利用者の様子を見守りながら、タイミングを見計らって声掛けを行うように心がけています。

また、保護者の付き添いが小学校3年生までなので、4年生以上の保護者が付き添いで来られた際の対応は、最初のころ戸惑いました。

Q3 この仕事に就くとき、不安なことはありましたか?

年齢により見守りの範囲が異なってくると思うので、どの範囲まで見守れば良いのか不安でした。

Q4 この仕事をしてよかったこと、嬉しかったことは?

子供達の笑顔や元気な声で、こちらも元気をもらえます。もともと、本や子供が好きでしたが、更に好きになり、色々な本に興味を湧きました。

Q5 仕事を通じて、日常生活に変化がありましたか?

子供達に元気をもらい、活力が湧いています。一緒に就業するシルバーの会員とも仲良くなり、就業する日が楽しみです。



↑ 利用者の受付を行います



↑ 普通の図書館ではあまり見かけない本もあります



← 色々なスタイルで本を読むことができ、楽しめるスペースです



会費の納入をお忘れなく!



令和7年度(令和7年4月~令和8年3月末)の年会費 2,400円の納入をお願いします。

会員の皆様に納めていただいた年会費は、センターの事業運営や傷害・賠償

保険のシルバー保険料などの経費として活用しています。

会費の納入期限は、令和7年5月31日(土)までとなっています。会費をまだ納めていない方は、期限までに納入をお願いします。

●シルバーでの仕事

中島優さんは現在、沼南近隣センターで夜間の窓口対応の就業をしています。この他に、風早北部ふると協議会の役員や、通学ボランティアの横断歩道を渡る際の旗振り役も行っています。柏生まれの沼南育ち、地域への恩返しの気持ちから様々な活動をしています。

●国鉄からJRの運転士として

18歳で当時の国鉄に入社、研修期間を経て40年余り、電車の運転士として勤務しました。担当は、総武線や中央線。私たちは、中島さんの運転する電車で千葉県内や都内を移動していたかもしれません。この仕事を選んだのは、お父様が同じく国鉄マンだったからだそうです。しかしお話を伺うと、過密ダイヤの中で世界一時間に正確と言われる日本の電車を運転するには、確実な運転操作を行う訓練や、運転士の健康管理が日頃から求められます。早朝の一番電車や終電を担当するなど泊まり勤務もあり、素人の私たちが思うよりもずっと厳しい仕事です。

定年退職後、先輩からの話もありシルバー人材センターに入会しましたが、今でも守っているのは、「時間に遅れない」と「指差喚呼」だそうです。家



中島 優さん
なかじま ゆうさん

電車の運転士として最後の勤務 →



を出る時も指を差し、声を出して「鍵ヨシ!」、現在の就業場所でも行うそうです。中島さんの生来の几帳面な性格もあるのですが、運転士として携わってきた大切な習慣がそのまま維持されています。

●手賀沼遊歩道で10キロのジョギング

40代後半から健康のために週に2、3回は手賀沼の遊歩道で10キロくらいジョギングをします。そのお陰でスリリとした体型の中島さん。ご家庭では妻の久子さんと共に、二世帯住宅で上階に住むお孫さんの世話をするのが日常。少し忙しいけれども充実した毎日です。

シルバーの
顔

●駐輪場班会議開催

12月19日(木)、令和6年度第3回駐輪場班会議がセンター大会議室で開催されました。参加者は、各駐輪場の連絡員(代表者)と事務局を含め9名でした。

事務局からの挨拶の後、令和7年度の定期利用受付についての議題に移りました。昨年同様、オンラインによる申請、紙での申請と2種類あり、オンライン申請は、利用者が市役所のホームページにアクセスして一連の



手続きを行う。紙での申請の場合、駐輪場窓口でコンビニ納付書を配布し、その際、利用区分、車種別に配布枚数をカウントするよう説明があ

●除草班会議開催

2月7日(金)センターの大会議室で除草班会議が開催されました。出席者は、職員を含む21名。石田班長の挨拶で始まり、和田職員の司会進行で令和7年度の作業について議事が進められました。

安全委員会から、今年の夏も猛暑が予想されるため、就業会員の健康を守るためと、事故の削減を図ることを目的に、夏場(7、8月)の受付件数を減らす提案がされたことについて協議をしました。出席者の多くはこの提案に

りました。すでにこれらの申請方法は経験しているため、ステッカーの受け渡しまでの流れは各会員が把握していると思われますが、より理解を深めるために受付事務講習会が1月20日から23日まで計7回実施されました。今回は、正副責任者と未受講者及び希望者が受講対象です。

続いて事務局から、新入会員が1か月間は単独勤務を避けるよう勤務調整の依頼がありました。やむを得ない場合は、センターに連絡の上1人増員し2人体制で行うということです。

会議では申請方法に関連した質問や、日頃抱えている疑問などについて活発な議論が交わされ、有意義な情報交換の場にもなりました。

反対でした。理由は、午前7時以降は刈払機の使用が可能なため、就業時間を工夫することで、なるべく12時までに終わるようにする。天候による作業の順延もあるので、出来れば土・日も就業出来るようにしたいという意見が出されました。しかし昨年度、センター事務局が把握していない土・日に作業を行い、事故が発生したことを踏まえ、土・日に就業をする場



合は、事務局で事前把握できるように必ず早い段階でセンターへの連絡を徹底することが確認されました。

次に、アンケート資料を基に、除草班が抱える課題について、検討しました。リーダーに負担がかかり過ぎている

●駐輪場接遇講習会開催

1月10日(金)に、駐輪場で就業する会員を対象に「駐輪場接遇講習会」が開催されました。受講者は、6カ所の駐輪場から合計21名の方が参加。講師は、港区シルバー人材センター会員で接遇グループの小森さんと新妻さんのお二人に依頼しました。お二方ともシルバーの会員になる前から接遇関係の職歴があるベテラン講師。

講習のテーマは「親切」「丁寧」「誠実」「着実」な就業を～でした。前半は、新妻講師による就業マナーに関する講習、後半は、小森講師によるロールプレイング形式のワークショップを行いました。

新妻講師からは、就業に関するマナーを中心に講義があり、サービス業としての自覚、印象を良くする要素、顧客対応と言葉遣い、好ましい用語、そのほかハラスメン

●安全研修会開催

3月14日(金)、安全研修会がセンター大会議室で開催されました。参加者は9名。講師は、安全委員会の寺田委員長です。初めに、委員長が最近の事故事例を紹介。刈払機で除草作業中に周囲の人と接触した裂傷事故、伐採した枝をトラックに積む際に車と接触した物損事故など、私たちの仕事に直結する事例でした。どのよう



にすれば事故を防げたのかを考えながら、安全に関するDVDを視聴。

次に、安全確認をするためにKYT(危険予知訓練)を学びました。資料に沿って高い窓での清掃作業を例

●自転車による事故が発生!

就業途上で自転車事故が発生しました。

会員は、左側を自転車で走行中に後ろからきた自動車に追突されました。その会員は、ヘルメットを着用していたので、大きなケガにはなりませんでしたが、自転車はメチャクチャに壊れ、一つ間違えば大ケガに繋がる事故でした。

今回のように本人は注意して自転車に乗っていても、もらい事故による被害を受けることがあります。自転車乗車時には、ヘルメットを着用しよう! また、道路交通法が改正され、自転車の罰則も強化さ

ことや、他の班の作業方法を勉強するため交流機会を持ちたい、作業日をもう少し早く知りたいなど、様々な意見が出ました。改善の一步として定期的な班会議の開催が事務局から提案され、会議が終了しました。

ト、会員同士のコミュニケーションの重要性、その他個人情報の対応等、具体的な事例を多く交えて講義が行われ、受講者も真剣に参加していました。

後半は、与えられたテーマに対してグループ討議とその発表が行われました。時間が足りないくらい熱心な討議がされていました。また、講師も受講者と一緒にグループへ参加され、とても有意義な講習会となりました。

最後に講師から、とても素晴らしい話し合いが行われ、得るものがあつたとのコメントも頂き、講習会が終了しました。

是非今回の講習会で得た知識を仕事に役立てて、就業の質の向上を図っていただきたいです。



に①どんな危険が潜んでいるか(現状把握)、②これが危険のポイント(本質の追求)、③あなたならどうする(対策の選択)、④私たちはこうする(目標設定)と方法を学んだ後、自分の職場であるいは日常に潜む危険をそれぞれが書き出し、発表する1人KYTを行いました。

続いて、安全確認のための指差呼称の正しいやり方も実践。左手は腰に、右手はグーを握んだ後に人差し指を出し、一度腕を耳もとまで上げて目標に向かって指差し、「ヨシ!」と声を出します。

仕事をする上で、自分は個人事業主だという自覚を持つことが大切と委員長。それが責任感を生じさせ、1人KYTの実践と仕事の安全につながります。

れました。①自転車運転中に、携帯電話等(スマートフォンなど)の使用又は画面を注視し、事故などの交通の危険を生じさせた場合、1年以下の懲役又は30万円以下を罰金。②飲酒運転や飲酒した人への自転車の提供、自転車であつた人への酒類の提供等を行った場合、3年以下の懲役又は50万円以下の罰金となります。ルールを守って事故防止に努めてください。

※柏市では、自転車乗車用ヘルメット購入費等補助金交付を実施中です。



● 植木剪定技能講習会

2月4日(火)、千葉大学柏の葉キャンパスにて、植木班対象の植木剪定技能講習会が開催されました。

講師には、同大学環境フィールド科学センター造園担当の本間雄二氏を招き、午前と午後に分かれて実施され、植木班の17名が参加しました。

午前の講習では、ツバキやキンモクセイ、それに最近発注者から依頼が増えているアジサイの剪定方法について、実技講習を行いました。

午後の講習では、もっこく、柿の木、五葉松の剪定方法を学びました。柿の木やみかん等、実のなる木の剪定作業が増えているようで、どの枝を切り、どの枝を残せば良いのか、強剪定後の処理方法等、実技指導を受けながら、個別に質疑応答も行われ、参加者も熱心に聞いていました。

参加した会員からは、「植木作業に従事して6年が経ちますが、作業場所ごとに植木の種類が異なるので、毎回難しい作業ですが、きれいになった時は、充実感があります」との話もありました。

このような講習会を通じて、他の班との交流や技術に係る相談等ができるので、技術向上を図りながら、植木班員同士の情報共有が行えるので、その成果は非常に大きいようです。

最後に講師の本間氏から、「植木によって剪定時期が異なりますが、切っても大丈夫な枝を覚えることで、技術の幅が更に広がると思うので、これからも頑張ってください」とお言葉をいただき、講習会が終了しました。



● 刈払機安全講習会開

4月1日(火)、刈払機を使用する除草班と公園管理に就業している会員を対象に、刈払機安全講習会がセンター大会議室で開催され、13人が参加しました。

当初この講習会は、刈払機の安全な使い方や刈払機による事故防止について、増尾城址公園で実技を行いながら行われる予定でしたが、当日の雨により、急遽、センター大会議室で座学による開催となりました。

講習会は、講師の株式会社SMサービス木梨氏により進められました。



最初に、刈払機の刃の種類とその特徴について説明

● 近隣センター接遇・ハラスメント防止研修会

3月3日(月)、近隣センターの就業会員を対象とした接遇・ハラスメント防止研修会がセンター大会議室で開催されました。事務局職員の挨拶の後、講師の宮澤知繁氏によって進められました。

対象の仕事がサービス業であることを踏まえると、接遇の基本はどのようにコミュニケーションを取るかが重要になります。人の第一印象は、視覚(身だしなみ、表情、態度)や聴覚(声の大きさやトーン)などで9割が決まるとのこと。円滑に仕事を進めるには、丁寧な言葉遣いで、身だしなみにも気をつけて。また、お客様と適切な距離感を保って接することも公平な接遇には大切です。さらにお辞儀の仕方や、クッションになるような対応の言葉

がありました。

次に、安全に作業するための服装や装備、刈払機の操作方法等について、テキストを基に説明がありました。

続いて、刈払機の事故について話があり、事故発生の原因や事故による被害者やセンターへの影響についても話され、動画による実例の説明もありました。刈払機による事故の重大さを改めて感じる内容でした。

その後、事故防止に努めるための作業方法や注意点、飛び石による事故を減少させるための刈払機の刃について情報提供もあり、参加者はその刃の仕様等について興味を持たれた様子で、様々な質問をしていました。

この講習会で会員の安全就業に対する意識が向上し、今後、刈払機による事故の削減につながることを期待します！

なども学びました。

次に、ハラスメントに係る研修では、「嫌がらせ」と置き換えれば考えやすいと大変わかりやすいアドバイスがありました。職場におけるモラルハラスメント、上下関係におけるパワーハラスメント、性的関係におけるセクシャルハラスメントなどがある中で、自分がしていること(されたこと)はハラスメントなのか？を知るためのチェックは有益でした。更に、他市のシルバー人材センターで起きた失敗事例を具体的に話していただいたことは、就業する身として気が引き締まる内容ばかりでした。明日からの仕事に生かしましょう！



● 駐輪場受付事務講習会開催

1月20日(月)から23日(木)の4日間で6回に分けて、駐輪場受付事務講習会が開催されました。2月3日(月)の定期利用の受付開始日に合わせ、作業を円滑に進めるための講習会です。計6回の受講者は、各駐輪場の正副班長と未経験者を含む25名になりました。

申請方法は、昨年からはオンラインによる申請と、従来の駐輪場の窓口での申請の2通りがあり、それぞれに注意点があります。

まず、オンライン申請は利用者自身が市役所のホームページにアクセスして申請と決済までを行うもので、ステッカーを交付する際には申請が完了したことを示すメール画面の提示が必要になります。

次に紙による申請は、駐輪場窓口で利用者にコンビニ納付書を配布します。その際、利用区別・車種別に配布枚数をカウントしておくことと、定数に達した場合は配布終了となることに加え、締切の早いオンライン申請との調整もあるため、正確な数を把握することが重要になります。

この他、減免申請の対応やキャンセル待ち、住所などの訂正、再交付の対応、増員についてなど、様々な質問や、活発な意見が交わされました。分からない場合は、一人で判断せず、周囲の仲間



「就業している女性会員さんに聞いてみました」 ♪ 働いて楽しい ♪

女性会員の就業体験をお届けしています。皆さんの参考としていただければ幸いです。

内 仕事の内容	苦 苦勞したこと	始 仕事を始めるのに不安だったこと	楽 楽しいと思うこと
慣 慣れるのに要した期間	続 就勞期間、継続するためのポイント		

♡ 職種：近隣センター等管理業務 (1さん)

内 近隣センター内の施設を管理する仕事です。内容としては、事前にパソコン画面で予約票を作成し、当日の受付・入金処理など事務的な仕事と、施設内の様々な管理・整備を行っています。

苦 最近導入されたキャッシュレス・システムに戸惑いと不安を感じました。写真入りのマニュアルがあるので、今でも確認しながら業務を行っています。

始 今まで事務系の仕事の経験は一度もなかったもので、自分に出来るのかとても心配でした。先に就業している方々に、丁寧に教えて頂き、スムーズに仕

事が出来るようになりました。

楽 利用者さんと顔見知りになると、あちらから声を掛けてくださったり、感謝の言葉を頂いたりすることがあり、その時にやりがいを感じます。

慣 就業して4年になり、大分慣れたと思っているのですが、毎回チェック項目でやり残した事はないか、ミスはないか等、チェックしながら仕事をしています。

続 月曜日から金曜日までの夜と土・日・祝の朝・昼・夜を、女性4人男性1人の計5名の交代制で就業しています。若干頭を使う仕事なので、適度に刺激を受けることが、元気の源になっていると思います。

● シルバーサロン開催

3月12日(水)パレット柏にて「シルバーサロン」が開催されました。当日は、田口会長をはじめ副会長、常務理事、ジョブコーディネーター、女性部会員、事務局など8名で対応しました。

午後1時からの開催でしたが始まる前から参加者の来場もあり早めにスタートし、合計13人の方が来場されました。来場者は、会場内に貼り出された掲示物を見る方、個別に相談をされる方もいて、相談者は熱心に質問をされていました。この活動により、6人の方が入会説明会への参加予約をされ、会員の拡大にもつながりました。

ご存知の方も多いと思いますが、「シルバーサロン」は平成3年から市民との交流や会員の拡大、センターのPRを目的に実施され、理事や専門部会員が中心となり、活動を行っています。市の広報誌などを見て来場される方が多く、過去には40人程の市民が来場されたこともあり、会員の皆様方もご近所や知り合いの方にこのサロンの事を含めセンターのPRにご協力をお願いします。

